

令和5年度
地域づくり活動
アシスト事業報告

ボランテニアでつなぐ
おばちゃんパワー

人情あふれる九島の人々

地域共生社会を目指して

♪伊予の宇和島 港にうかぶ
九島よいとこ 夢の島♪

何十年も前から代々歌い続けられてきた九島小唄の歌詞の中にもある様に、宇和島湾にうかぶ周囲10キロにも満たない小さな島。それが私達の住んでいる九島です。令和6年7月1日の時点で島民の人口は720名。高齢化率は60%と高く半数以上が女性のお年寄りの島です。島のそこそこには、おしゃべりのできるたまり場があり人との助け合い、譲り合い、見守りの精神があり認知症の方も安心して暮らしていける優しい島でもあります。

九島大橋の開通

2016年4月に半世紀にわたる島民の悲願だった九島大橋が開通し、島の生活も大きく様変わりしました。介護施設の送迎車が頻繁に行き来し、広い駐車場も完備されました。

そんな折宇和島市は、地域共生社会の実現を目指す国のモデル事業選定を受け、社会福祉法人「正和会」が旧九島診療所を「島の保健室」と改名し委託された4つの事業に取り組みました。そのうちの1つは見守り配食サービス事業です。2019年11月から週1回50食余りのお弁当をお年寄りの家に配達し、近況を聞き、見守りを兼ねて世間話をして帰ります。ボランテニアで行っている団体はめずらしく、2022年9月に内閣府より「令和4年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例社会参加章」という立派な賞をいただきました。又、2020年12月には宇



巻紙巻いて完成



手作り惣菜作り

和島市の「宇和島エール賞」で讃えていただきました。

草ほぎボランテニア「いきがい」代表 平井 富子

私達配食サービスのメンバーは、使用させてもらっている運動場や花壇が雑草で荒れているのを目の当たりにして、小さな力ではあるけれど草ほぎをしようと意気投合しました。そんな折「地域づくり活動アシスト事業」のことを教えていただきました。大切な助成金でメンバーの作業着や作業用具を購入しました。以前にも増して積極的に協力してもらったことができ本当にありがたかったです。何より嬉しかったのは、除草シートを買わせていただき草ほぎスペースが大幅に減り作業が楽になりました。

「足腰の丈夫な間は頑張ろうね。仲間とみんなやれば何でもできるもんね。」

70歳なかば10名のパワー全開の言葉です。



配食メンバーと草ほぎ